

美濃和紙あかりアート作品の制作ガイドライン

あかりアート展出展者の皆様から、

- ・作品一体型の意味がよく分からない・分かりにくい。
- ・どのように作品を作ったらいいのかわからない。

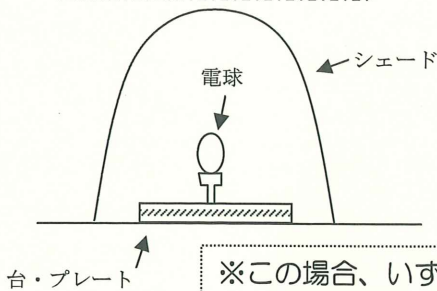
など、数々の疑問が寄せられるようになりました。そこで、これらの疑問にお答えし、今後の作品作りに活かしていただくため、今回「美濃和紙あかりアート作品の制作ガイドライン」を作成しました。

作品一体型とは・・・

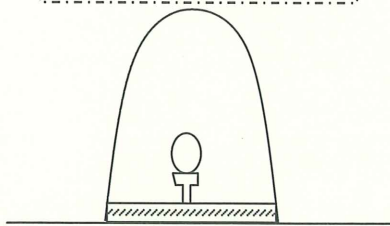
シェード部分と照明器具がネジや留め金、その他の方法で、固定されているものをいいます。

×悪い例×

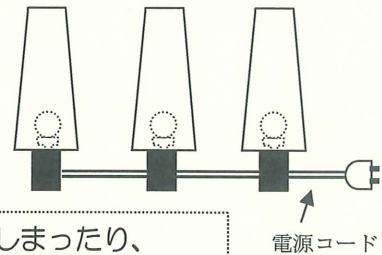
① シェードをかぶせただけ



② シェードをはめただけ

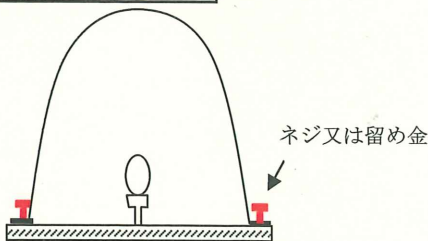


③ 複数の作品が電源コードのみでつながっている

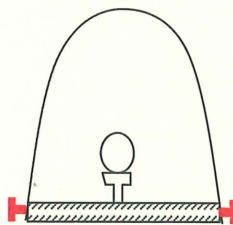


※この場合、いずれも風等で簡単にシェード部分が外れてしまったり、作品移動の際に破損する恐れがあります。

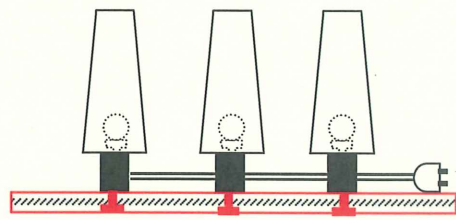
○改善方法○



① シェードにツバ部分をつくり、ネジ・留め金などで台に固定する



② 台の部分の厚くして、横からネジ・留め金などで固定する。



③ 台の上に複数の作品を配置し、それぞれが動かないように固定する。

○ソケット取付方法○

○ソケットの取付が不十分な作品が多く見られます。

取付が不十分だと、電球が倒れ火災・故障の原因にもなります。ソケットの種類には置き型・ネジ式の2種類がありますが、いずれの場合も必ずネジなどで台に固定してください。

※両面テープ等は使用しないで下さい。はがれやすく、転倒の原因となります。

